

XI. 結果のまとめ

1. 医療提供、処置内容

- 自宅に戻った脳卒中患者に対する医療提供については、診療所と病院ともに今回選択肢として提示した全ての項目について実施されていた。その実施割合は全て病院が診療所より高かった（図 5-1、図 5-10）。
- 診療所における処置の実施は、「褥瘡の処置」の 38 件（34.5%）が最も実施率が高かった。「気管カニューレの交換」「経鼻栄養チューブの交換」「人工肛門の管理指導」については 1 割に満たない実施率であり、さらに「人工呼吸器の管理」は実施している診療所が無かった（図 6-1）。
- 特に「人工呼吸器の管理」については、病院においても 2 件（12.5%）のみの提供であり、在宅での「人工呼吸器の管理」をしている医療機関が君津圏域では少ない状況が認められた（図 6-10）。
- 診療所の関わりについては、医療提供、処置の実施ともに「内科」の標榜のある診療所が、全ての項目について関わっている割合が他科を標榜している診療所よりも高かった（図 5-2～図 5-9、図 6-2～図 6-9）。

2. 訪問診療及び往診

- これらを行っている診療所は 37 件（33.6%）、病院は 9 件（56.3%）であった（図 4-1、図 4-2）。

3. 設備

- 「車椅子で診察室に入れるか否か」「エレベーターの設置の有無」「院内の土足での利用」等については、車椅子の利用が困難な診療所があった（図 7-1）。

4. リハビリテーションの提供

- 診療所では、脳卒中患者の外来リハビリテーションを 4 件（3.6%）が実施していた。ただし「リハビリテーション科」の標榜がある診療所は 8 件であり、「リハビリテーション科」を標榜している診療所でも脳卒中に関する外来リハビリテーションの実施は 50%であった（図 8-1）
- 病院では、7 件（43.8%）が外来リハビリテーションを実施していた。「リハビリテーション科」の標榜がある病院は 7 件であり、全ての病院で脳卒中の外来リハを実施していた（図 8-4）。
- リハビリテーション専門職の配置は、全く配置が無い診療所が 110 件中 106 件であり、圏域内の診療所にはリハ専門職が極めて少ない状況であった。病院では、最も配置割合が高い理学療法士の配置が 16 件中 10 件であった（図 8-3、図 8-5）。

5. ケアマネジャー等との情報交換

- 診療所では、サービス担当者会議への出席は「1 ヶ月に 1 回以上」が 110 件中 2 件（1.8%）、「3 ヶ月に 1 回程度」は 0 件である一方で、54 件（49.1%）がケアマネジャー等との情報交換をしていなかった（図 10-2）。
- 病院ではケアマネジャー等と情報交換をしていないとの回答は 16 件中 1 件と少なかったが、

サービス担当者会議への出席は「1ヶ月に1回以上」「3ヶ月に1回程度」を併せて7件(43.8%)であった(図10-6、図10-10)。

- 情報交換の手段については、診療所では「直接会って」が34件(30.9%)、「文書」が33件(30%)とほぼ同数であった。また、病院でも「直接会って」が12件(75%)、「文書」「電話」が11件(68.8%)とほぼ同数であった(図10-2、図10-9)。
- ケアマネジャー等との情報交換を行なっていると回答した49診療所では、情報交換の状況が「良好」「どちらかと言えば良好」が31件(28.2%)を占めていた。また、病院では、ケアマネジャー等との情報交換を行なっていると回答した15件のうち、情報交換の状況が「良好」「どちらかと言えば良好」が12件(80%)を占めていた(図10-4、図10-11)。
- 病院については、居宅介護支援事業所を併設している方がサービス担当者会議への出席率は高い傾向が認められたが、ケアマネジャー等との情報交換の状況が良好であるということは認められなかった(図10-8、図10-11)。診療所では、110件中2件のみが居宅介護支援事業所を併設しているが、ここでは特にクロス集計を行っていない。
- 訪問診療もしくは往診を実施している診療所が実施していない診療所よりもケアマネジャー等との情報交換が良いという状況は認められなかった(図10-4)。
- 病院では、訪問診療もしくは往診を実施している場合はサービス担当者会議への出席率は高いが、ケアマネジャー等との情報交換が必ずしも良好であるとは言えない状況であった(図10-8、図10-12)。

千葉県
脳卒中リハビリテーションモデル事業実態調査
～千葉地域、君津地域～

平成 22 年 3 月

発行・編集：千葉県千葉リハビリテーションセンター
〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1 丁目 45 番 2
電話：043-291-1831